

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市南アルプス井川オートキャンプ場		
課 名	中山間地振興課		
指定管理者名	一般社団法人静岡市井川振興会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年6月4日（木）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 佐藤 暢久（環境局 森林経営統括監） ②委 員 安本 暢子（北部生涯学習センター長） ③委 員 原田 収司（藁科都市山村交流センター館長） ④委 員 望月 大輔（井川支所長） ⑤委 員 岡本 嘉章（中山間地振興課長）		
評価点 (各委員平均点)	81.8点	評価	A B C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	評価委員会では良好な施設運営状況となるBと評価されるとともに、利用者アンケートにおいても高評価を得られており、これは施設管理や接客の面でも、利用者に寄り添った環境整備ができていることによるものと判断できる。 当施設は、近年の猛暑、熊の出没情報、道路通行規制などの外的要因により利用者数の確保が難しい状況にあり、令和6年度、令和7年度は2年連続で赤字となった。しかし、そのような環境下においても適切な施設管理と利用者サービスの提供に努め、キャンプファイヤーやアマゴのつかみ取り、プールの設置等の自主事業を積極的に展開している。 今後は、南アルプスの玄関口としての立地特性を生かし、周辺事業者との連携をさらに強化し、計画されているトレイルランニングコースの活用をはじめとした新たな誘客施策に取り組まいたい。また、利用者の満足度向上とリピーターの確保に加え、効果的な情報発信や魅力ある体験プログラムの充実により新規利用者の獲得を図るとともに、収支の改善に努められることを期待する。		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡県南アルプス井川オートキャンプ場]

課名 [中山間地振興課]

指定管理者名 [一般社団法人静岡県井川振興会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点45点】					
(ア) 事業計画書等示された事業が予定どおり、円滑に実施された。	16	15	18	17	15	16.2
(イ) 施設の管理状況は適当である。	8	8	9	9	9	8.6
(ウ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。	5	5	5	5	5	5.0
(エ) 経理は適正である。	7	4	7	7	5	6.0
小 計	36	32	39	38	34	35.8
2 指定管理者の創意工夫	【配点20点】					
(ア) 指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。	16	14	19	18	17	16.8
小 計	16	14	19	18	17	16.8
3 市民（利用者）のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。	8	9	10	9	8	8.8
(イ) 利用者の苦情等に適切に対応した。	5	5	5	5	5	5.0
小 計	13	14	15	14	13	13.8
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 交流人口の増加が図れた。	8	8	8	8	6	7.6
(イ)) 地域振興施設としての役割が担えた。	8	8	8	9	6	7.8
小 計	16	16	16	17	12	15.4
合 計	81	76	89	87	76	81.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・道路状況や施設の老朽化、自然災害など外的要因による利用者の減、収入減が見て取れる。キャンプサイトの見直しや温泉利用料の値上げなどが必要かと思われる。 ・指定管理者のみの集客には限界があるため地域の観光関連事業者との連携が必要。 ・利用者の多くがリピーターとの事のため満足度は高いと思われるが、キャンプ以外のイベントとの組み合わせが新たな利用者の獲得につながるとと思われる。 ・地理的、立地的不利な状況の中で南アルプスの入口として自然体験のできる施設としての役割を担っている。周辺事業者等との連携を図り集客力の強化に努めてもらいたい。
【B評価委員】
・事業計画書に従い概ね実施されている。 ・魅力ある地域資源を利用した体験を継続してほしい。 ・従業員の対応は良好であり、お客様ファーストの対応が高評価につながっている。 ・井川ビジターセンターとの連携は図られている。
【C評価委員】
・当日訂正されたものの資料中「収支」に誤りがあったのは残念であった。その一方で収支や利用環境の改善意識のもと施設配置や料金設定について検討していることは評価できる。 ・繁忙期であるはずの夏が酷暑のため来場者数が減少し収入面にも悪影響を及ぼしているが、指定管理者ならではの地域とのネットワークを活かし検討している集客策に期待したい。 ・遠隔地にあり設備的にも老朽化している中で一定のリピーターを確保していることから良好な市民サービスがなされていると評価できる。 ・漁協やビジターセンターとの協働が見られ、さらに井川全体に賑わいをもたらす方策を検討していることを評価する。 ・物販や自主事業などを通しての創意工夫を感じることができ、今後の展開にも期待が持てるものであった。
【D評価委員】
・営業日数を少しずつ増やし利用者増加を目指している。収支の赤字部分は今後の工夫が求められる。 ・キャンプファイヤーの週末開催など積極的に事業を展開している。 ・利用者満足度は毎年95%以上である。ほぼ苦情もない。 ・井川ビジターセンターとの連携を図り、井川観光の発展に努めている。利用者人数は特にここ数年の猛暑や令和7年度の熊の被害情報などの影響で減少するなど厳しい状況ではあるが、週末開催のキャンプファイヤー、夏期間のアマゴのつかみ取り、プールの設置、ピザ釜を修理し使用可能とし体験活動ができるようにするなどの努力が見られる。 ・今後もトレランのコースの設置を予定されているとことなので連携してやっていければ利用者の増加につながっていくのではないかな。
【E評価委員】

- ・経理状況に不安がある。
- ・キャンプファイヤーなど非日常を味わえる工夫をしていることから、個人や家族の利用客の思い出をつくるための魅力ある取組みを評価できる。
- ・利用者満足度が高く、施設管理運営に対して苦情なく適切に対応している様子が伺える。
- ・交流人口が図られたか評価しにくい。天候や道路通行規制など指定管理者の及ばない事情により利用客の伸び悩みがあるものの創意工夫しながら努力している様子がみえる。

評価委員会としての意見

当施設は、南アルプスの玄関口として自然体験やアウトドア活動の機会を提供する重要な役割を果たしている。利用者への丁寧な対応は高く評価されており、利用者満足度の向上につながっている。

近年は猛暑や熊の出没情報、天候不順、道路通行規制など、指定管理者の努力だけでは対応が困難な外的要因により利用者数が伸び悩む厳しい状況が続き、令和6年度、令和7年度は2年連続で赤字となった。しかしながら、キャンプファイヤーやアマゴのつかみ取り、プールの設置、物販や自主事業の展開など、創意工夫を凝らした取組が積極的に行われている点は評価できる。

今後は、周辺事業者や関係団体との連携強化を図るとともに、計画されているトレイルランニングコースの活用など新たな魅力づくりを進め、リピーターの確保と新規利用者の獲得につなげることが期待される。引き続き、特色ある体験プログラムの充実と情報発信に努め、さらなる利用促進を図り、収入の増加による収支改善に取り組まれることを期待する。